

入学おめでとう

豊かな明日への飛躍を



文学部長

まつお
松尾

まさひと
正人

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。大学での新たなスタートはいかがでしょうか。皆さんがこれから過される学生時代は、人生の最も可能性に富んだ、将来に向けた貴重な糧を得る期間です。

中央大学の前身の英吉利法律学校を創設した増島六一郎も、皆さんと同じ時代にその後の人生の原点がありました。彦根藩の下級武士に生れた増島は、東京での勉学を志して親友と二人で家を飛び出し、義兄に連れ戻されて失敗。二度目にやっと藩の許可を得て上京しました。始めは漢学を学びましたが、明治維新の新しい時代、文明開化の東京で英学の重要さを知り、外国語学校に入学します。その後、東京大学に進んで、代言人（弁護士）が近代社会に重要な役割を果たすことを知りました。そして三菱の援助を得て英国に学び、最後はミドル・テンブルで最高のバ

リスター（法廷弁護士）の資格を得ました。

その増島は帰国後、若き友人たちとともに英吉利法律学校を創設しました。増島が東京での勉学を断念していたら、英国に留学してバリスターを志すことがなかったらどうでしょうか。明治18年創設の英吉利法律学校もその後の中央大学もなかったかもしれません。

大学時代は、過ぎてしまうと、あつという間だったように感じられます。いうまでもなく大学は幅広い教養を身につけるとともに、専門的知見を培うところです。実社会と異なった場で、さまざまな知識を蓄え、自由に物事を考え、グローバルな視野に立って模索することができず。可能性に富んだ、明日への飛躍につながる数年間です。

皆さんが学生時代を有意義に過され、将来の飛躍につながる充実した期間となることを、心からお祈りしています。頑張ってください。